



獣の刻印とは何でしょうか？ 入れ墨された数字？ 皮膚の下に埋め込まれたコンピューターチップ？ それとも何かもっと巧妙なものなのでしょうか？ これは聖書全体において最も誤解されている預言のひとつですが、正しく理解することはとても重要なことなのです。けれどもこの課題を学ぶにあたり、具体的に特定の名を挙げるなど、とてもデリケートな問題を扱わなければなりません。今日、この学びは人々に好まれる主題ではありませんが、私たちはこれを明確に理解していなければなりません。なぜなら神は人々を愛しておられ、彼らに真理を知って欲しいと望んでおられるからです。このメッセージは私たちのものではありません、イエスのものです。そして獣の刻印を受ける人々は永遠の死に直面することになってしまいますので、このメッセージを伝える神の助けをしないことは犯罪と言えます。おそらくこの講座は次のような警告を含む前書きをするべきでしょう、「悪魔は、あなたがこの聖書講座を読み、終了することを望んでいない」。ヨハネの黙示録 13:1-8, 14:9-12, 14:16-18 をぜひお読みください、そしてこの冒険のような学びに取り組む前に、聖霊が素直な、そして理解できる心を与えるくださるようにお祈りください。

### 急を要する確認

私たちはこの講座の2課で、神と悪魔との間で進行中の恐ろしい争闘について学びました。これは天の最も力強い天使であったルシファーが神に反逆して以来、何世紀にもわたって猛威をふるってきた戦いです。ルシファーは、彼の味方だった天使たちとともに神を降伏させ、宇宙を支配下に置くことを企てました。ですから神と忠実な天使たちは、天からルシファーと悪天使たちを追放する以外の選択がありませんでした。悪魔とかサタンとして知られるようになったルシファーは激怒しました。そして、神を滅ぼし、宇宙を支配しようという彼の決意は、過ぎ去ってゆく年とともに増大してきています。驚くべきことには、ルシファーの反逆に対して、地球上のほとんどの人々の支持を獲得しているのです。主もまた、人々に、神に対する忠誠と支持を願っておられますが、神はすべての人々に選択の自由をゆるぎなくおられます。まもなくこの地上のすべての人々が、サタンか神のどちらかに連なることになります。サタンと神の最終的な戦いはすぐ目の前に迫っており、ヨハネの黙示録の中にそれが説明されています。神は黙示録において、ご自分の民を見分けるための紋章、または印（しるし）を持つということを示してくださっています。サタンもまた、彼を支持する人々を見分けるための印（しるし）を持つようになるのです。従来どおり、サタンは彼の印を強いるために地上の権力（黙示録において獣で象徴されている）を通して働きます。この聖書講座では、世の終わりに、すべての失われた人々が受けることになってしまう獣の刻印について明らかにします。あなたが獣の「刻印」が何かを知らなければ、どのようにしてそれを受けてしまうことから免れることができるのでしょうか？



### 1. 「刻印」が何かを知るためには、私たちはまず始めに獣が何かを見極めなければなりません。聖書は獣のことをどのように説明していますか？



ヨハネの黙示録 13 章は、獣の特徴を知るための 11 の手がかりを提供している。

- J. 42 ヶ月の間支配する (5 節)。
- K. 謎の数字 — 666 を持っている (18 節)。

#### 答え：

ヨハネの黙示録 13:1-8, 16-18 には、獣の正体を知るために、11 の手がかりとなる特徴が書かれています。それらは下記の通りです：

- A. 海から上がって来る (1 節)。
- B. ダニエル書 7 章の四つの獣の要素が含まれている (2 節)。
- C. 龍から力と権威が与えられる (2 節)。
- D. 致命的な傷を受ける (3 節)。
- E. 致命的な傷は治る (3 節)。
- F. 強い政治的な権力を持つ (3, 7 節)。
- G. 強い宗教的な権力を持つ (3, 8 節)。
- H. 冒涇の罪を犯す (1, 5, 6 節)。
- I. 聖徒に戦いを挑み勝つ (7 節)。

これらのいくつかの項目は、見覚えがありませんか？ もちろんです！ 私たちは、ダニエル書 7 章で反キリストのことを学んだ時に、これらの多くの項目をすでに確認しました。黙示録 13 章の「獣」は、ダニエル書 7 章で学んだ「反キリスト」の別の名称にすぎず、それはローマ法王制度です。ダニエル書とヨハネの黙示録の預言は、しばしば先に説明された同じ預言を、のちに繰り返して説明することがよくありますが、のちに繰り返すたびに新しい特色が加えられており、預言を確かなものとするための助けとなります。ですから、今回の聖書研究講座から、反キリストに関しての新しい事柄をいくつか学ぶことができることをご期待ください。では、獣に関して述べられている 11 の項目をひとつひとつ考察してみましょう。

#### A. この獣は海から上がって来る (ヨハネの黙示録 13:1)。

預言において海（または水）は、群衆、または人口密集地を指します (ヨハネの黙示録 17:15)。そのように、獣、あるいは反キリストは、当時よく知られていた世界の確立されていた国家の中から起こりました。ローマ法王制度は、周知のとおり、西ヨーロッパから起こりました、ですから獣はこの項目に当てはまります。



黙示録 13 章の獣は、反キリストを象徴する。

#### 説明の言葉

すべての人々を敬いなさい (ペテロの第一の手紙 2:17) という神が命じられている言葉に調和したローマ法王制度の多くの良き行いや活動を、ここで少しの間考えてみましょう。病院、孤児院、貧しい人々の世話、未婚の母たちのための住まい、そして老人の介護などは世の中で高く評価されています。彼らがなしている多くの事柄は、心から賞賛されるべきです。けれどもほかのすべての組織と同じように、彼らもまた過ちを犯しました。神はそのいくつかの過ちをヨハネの黙示録の中で正確に示されました。祝福し、慰めてくださる主でも、ときに罰し、矯正をしなければなりません。この重要な課題を学ぶにあたり、

神の聖霊があなたに語りかけられますようにお祈りください。

## B. 獣は、ダニエル書 7 章の四つの獣の要素が含まれている (ヨハネの黙示録 13:2)。

下記の対比をご覧ください、すべてが調和しています：

	ダニエル 7 章	ヨハネの黙示録 13 章
バビロン	ししのような獣 (4 節)	「ししの口」 (2 節)
メド・ペルシャ	熊のような獣 (5 節)	「熊の足」 (2 節)
ギリシャ	ひょうのような獣 (6 節)	「ひょうに似て」 いる (2 節)
ローマ	十の角を持つ獣 (7 節)	「角が十本」 ある (1 節)

ダニエル書 7 章の四つの獣は、反キリスト、または獣の一部として描写されています。なぜならば、ローマ法王制度は四つの帝国の異教の教えを取り入れ、それを実際に行っているからです。ローマ法王制度は、それらを霊的に装い、キリスト教の教えとして世界に広めています。以下は、数多くある中から、歴史上証拠立てられている供述のひとつです：「ある点において、彼女〔ローマ法王制度〕は、その組織をローマ帝国から模倣し、維持し、そして ソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学的洞察を生み出し、蛮族、ビザンティン帝国の両者から取り入れたが、常に彼女自身は残存し、外部源から引き出されたすべての要素を徹底的に会得している。」<sup>1</sup> この点は明らかにローマ法王制度に当てはまります。



ローマ法王制度は「反キリスト」である。

## C. 獣は、その力、位、そして権威を龍から与えられる (ヨハネの黙示録 13:2)。

龍が何かを見極めるには、まず純潔な女として描かれ、神の終末時代の教会のことが書かれているヨハネの黙示録 12 章を見る必要があります。預言において、純潔な女は、神の真の民、または教会を象徴します (エレミヤ書 6:2; イザヤ書 51:16)。(この聖書講座 23 課では、ヨハネの黙示録 12 章の神の終末時代の教会についての詳細な学びをいたします。22 課では、ヨハネの黙示録 17、18 章の、墮落した諸教会は、墮落した母とその墮落した子供たちによって象徴されているということを説明いたします。) 純潔な女は子を宿していて、今にも産まれようとしていることが描写されています。龍は、赤子が生まれる「食い尽くそう」と近くで身構えています。しかしながら赤子が生まれたとき、赤子は龍を逃れ、使命を達成し、そして昇天されました。明らかにこの赤子は、ヘロデがベツレヘムのすべての赤子を殺すことで滅ぼそうとしたイエスであります (マタイによる福音書 2:16)。ですから龍は、ヘロデが王であった時の異教ローマを象徴しています。ヘロデの陰謀の力の背後にいたのはもちろん悪魔でした (ヨハネの黙示録 12:7-9)。サタンは、彼の醜悪な働きを達成するために、さまざまな政府、国家組織などを通して行動します -- この



ヘロデ王は、イエスの誕生のときに、「食い尽くそうと」、あるいは殺そうとした。

場合は異教ローマでした。



ナポレオンの参謀長であったベルティエは、ピウス 6 世を捕虜にすることで、ローマ法王制度に死ぬほどの傷を負わせた。

書である この血の鍵 (The Keys of This Blood) に次の事柄を明らかにしています。<sup>5</sup> (括弧内はページ数)：

これに関して、歴史上、裏付けのある文献が数多く存在していますが、ここではその中の二つを引用します：(1) 「ローマ教会は ... ローマ世界帝国の位に自ら押し入った。それはローマ帝国の事実上の存続であり ... 法王は ... シーザーの後継者である。」<sup>2</sup> (2) 「強大な力を持つカトリック教会は、バプテスマを受けた ローマ帝国にすぎない。ローマは改心すると同時に変容した。古代ローマ帝国の首都そのものが、キリスト教帝国の首都になった。最高神祇官の地位は教皇に譲られ継続された。」<sup>3</sup> 従って、この点もまたローマ法王制度に当てはまっています。法王制度は、異教ローマから都の中心と権力を受け継ぎました。

## D. 獣は死ぬほどの傷を受ける (ヨハネの黙示録 13:3)。

この死ぬほどの傷は、1798 年 2 月、ナポレオンの参謀長であったアレクサンダー・ベルティエがローマに入り、法王ピウス 6 世を捕虜にしたときに受けました。人々は、法王が失せれば、教皇権は途絶えると宣言しました。法王は 1799 年にフランスで死去しました。「ヨーロッパの半数の人々は ... 法王なくしての教皇権は途絶えたと考えた。」<sup>4</sup>

この点においてもまた、ローマ法王制度に当てはまっています。

## E. 死ぬほどの傷は治り、全世界の人々は獣に忠誠を尽くす (ヨハネの黙示録 13:3)。

傷が癒えてから、ローマ法王制の力は強まり、今日、この制度は、世界で最も権力のある政教組織、そして影響力の中心となるまでに増大しています。熱達したバチカン内部者、そして謀報活動の専門家であるマラカイ・マーチン (Malachi Martin) は、彼のベストセラーの著



100 カ国以上の国家代表がバチカンにいる。

**ローマ法王に関して:**

コンスタンチンが彼の時代においてそうであったように、彼(法王)は、世界の主権者になることに意を決している(49)。彼(法王)は四つの政府によって保護されている(120)。彼(法王)は20世紀において最も知られた人物である(123)。彼(法王)は91カ国の指導者たちと個人的な友である(490)。世界の人々は、強力な世界的、道徳的な支配権を持つ政府を築くことに用意ができていたと彼(法王)は思っている(160)。彼(法王)のアメリカ訪問の際、一万六千人のジャーナリストが取材をした(490)。

**ローマ法王制度に関して:**

アメリカ大使は、「秘密情報収集所」としてバチカンに並ぶものはないと言っている(120)。バチカンは、世界のどこであっても、月曜日に何が起るかを土曜日までには知っている(439)。教皇庁組織は現在、世界的支配のための備えをしている(143)。

明らかに、傷は治り、そして国々の目がバチカンに注がれています。このように、この点に関してもローマ法王制度に当てはまります。



何百万というクリスチャンは、教皇の迫害のときに彼らの生命を失った。

**F. 獣は、強力な政治的権力となる(ヨハネの黙示録 12:3,7)。**

上記の E をご覧ください。

**G. 獣は、非常に強力な宗教的組織になる(ヨハネの黙示録 13:3,8)。**

上記の E をご覧ください。

**H. 獣は、冒涇の罪を犯す(ヨハネの黙示録 13:5,6)。**

ローマ法王制度は、冒涇の罪を犯しています。なぜなら司祭は罪をゆるすことができ、法王はキリストであると宣言しているからです。

**I. 獣は、聖徒に戦いを挑み迫害する(ヨハネの黙示録 13:7)。**

ローマ法王制度は暗黒時代に、数百万の聖徒を迫害し、殺害しました。

**J. 獣は、42ヶ月の間支配する(ヨハネの黙示録 13:5)。**

ローマ法王制度は、預言的期間である42ヶ月の間支配しましたが、これは1260年に相当します -- 紀元538年から紀元1798年の間です。

H から J までの項目についても明らかにローマ法王制度に当てはまります。これらはすでにこの聖書研究講座15課の質問8にある G, H で詳しく学びましたので、ここでは簡単に触れるだけにしました。

**K. 謎の数字、666 を持っている (ヨハネの黙示録 13:18)。**

この聖句には、「人の数字である。」(欽定訳聖書)と書かれており、またヨハネの黙示録 15:2 では、それは「彼の名の数字」(欽定訳聖書)であるとも書かれています。あなたが法王制度について考えるときに、だれを思い浮かべますか? 当然私たちは法王のことを思い浮かべることでしょう。法王の正式な名前は何か? ここにカトリックからの引用があります: 「ローマの法王の称号は、『Vicarius Filii Dei』(意味:神のみ子の代表者)である」。<sup>6</sup> マラカイ・マーチンのこの血の鍵 (*The Keys of This Blood*) の 114,122 ページでは、法王に同じ称号を使っています。一部のドゥエー (カトリック) 聖書におけるヨハネの黙示録 13:18 の脚注では、「この名前の数字はこの数を構成する」と書かれています。右のチャートをご覧ください、これは、名前 (法王の称号) のローマ数字を算定すると、どのようになるかということを示しています。

ローマ法王制度は、この点でも判別するための項目に一致しています。「刻印」を持つ獣は、ローマ法王制度です。歴史において、これら神が与えてくださった記述に一致する可能性のある権威はほかにありません。さて、私たちは、獣が確かに判明できましたので、その刻印、権威の象徴を見つけることができます。けれどもまず始めに、神の権威の印 (しるし) を見てみましょう。

<sup>1</sup>Andre Retif, *The Catholic Spirit*, trans. by Dom Aldhelm Dean, Vol. 88 of *The Twentieth Century Encyclopedia of Catholicism* (New York, Hawthorne Books, 1959), p. 85.

<sup>2</sup>Adolf Harnack, *What is Christianity?* trans. by Thomas Bailey Saunders (New York: Putnam, 2nd ed., rev., 1901), p. 270.

<sup>3</sup>Alexander Clarence Flick, *The Rise of the Mediaeval Church* (reprint: New York, Burt Franklin, 1959), pp. 148, 149.

<sup>4</sup>Joseph Rickaby, "The Modern Papacy," *Lectures on the History of Religion*, Lecture 24, (London: Catholic Truth Society, 1910), p. 1.

<sup>5</sup>(New York, Simon & Schuster, 1990)

<sup>6</sup>"Answers to Readers' Questions," *Our Sunday Visitor*, Nov.15, 1914.

V	=	5
I	=	1
C	=	100
A	=	0
R	=	0
I	=	1
U	=	5*
S	=	0
		-----
		112
F	=	0
I	=	1
L	=	50
I	=	1
I	=	1
		-----
		53
D	=	500
E	=	0
I	=	1
		-----
		501
Totals		112
		53
		501
		-----
		666

\* V と U それぞれは、ローマ数字にすると 5 に相当する。

**2. 神の権威の印、あるいは象徴とは何ですか?**

「わたしはまた彼らに安息日を与えて、わたしと彼らとの間のしるしとした。これは主なるわたしが彼らを聖別したことを、彼らに知らせるためである。」エゼキエル書 20:12 「これは永遠にわたしとイスラエルの人々との間のしるしである。それは主が六日のあいだに天地を造り、七日目に休み、かつ、いこわれたからである。」出エジプト記 31:17

**解説:** 上記の聖句で、神は安息日を、創造する神の力、そして私たちがを聖別 (回心と救済) する神の力の荘厳な印 (しるし) として私たちに与えられたと述べています。聖書の中で、印 (seal)、徴 (sign)、マーク (mark)、記号 (token) などの言葉は交互に使用されています。<sup>7</sup> 神の印 (しるし) である安息日は、創造主であり、そして救い主として支配なさる神の聖なる力を象徴しています。ヨハネの黙示録 7:1-3 では、その印 (しるし) は、神の民の額 (ひたい - 心 - ヘブル人への手紙 10:16) に押されると述べてられています。それは、彼らは神の所有であり、神の品性を持っているということの意味しています。ヘブル人への手紙 4:4 - 10 では、私たちが神の安息 (救いを受ける) に入るとき、私たちは神の第七日安息日を、救いの象徴、印 (しるし) として清く守るべきであることが確認されています。真に安息日を守るということは、イエス・キリストに生涯を捧げ、イエスが導かれるところはどこであっても喜んで従うということの意味しています。

神の権威と力の象徴、または印 (しるし) が神の聖なる安息日ですので、神の挑戦者 -- 獣 -- の象徴、または印も、聖なる日に関するものであるように思えます。ではそうであるかを確かめてみましょう。

<sup>7</sup>(創世記 17:11 と ローマ人への手紙 4:11 そして ヨハネの黙示録 7:3 と エゼキエル書 9:4 を比較してください。)



安息日は、神の権威の徴 (しるし)、また印 (しるし) である。

**3. ローマ法王制度は、その権威の象徴、または、印は何であると書かれていますか?**

答え：下記のカトリックのカテキズム（公教要理）からの引用文にご注目ください：

「質問:教会が神が定められた祝日を制定する権威があるということを証明するほかの方法はありますか？」  
「答え:教会にそのような権威がなかったならば、現代のすべての宗教家たちが同意している七日目安息日を遵守する代わりに、週の第一日の日曜日を遵守するという、聖書的に何の権威もない変更はなし得ません。」<sup>9</sup>

このように、ここでローマ法王制度が述べていることは、教会が安息日を日曜日に変更し、事実上、すべての教会が新しい聖なる日を受け入れているということです。それゆえ、ローマ法王制度は、聖日としての日曜日は教会の権威のしるしであると主張しているのです。<sup>9</sup>Stephen Keenan, *A Doctrinal Catechism* [FRS No. 7.], (3rd American ed., rev.: New York, Edward Dunigan & Bro., 1876), p. 174.



日曜日を聖なる日とすることは、獣の刻印、または権威の象徴である。

#### 4. 神はそのような変更を聖書の中で預言されましたか？

答え：はい、預言されているのです！ダニエル書 7:25において、反キリストについて記述されているところで「時と律法とを変えようと望む」と神は言われました。

A. ローマ法王制度は、どのように神の律法を変更しようと試みましたか？ 三つの異なる方法においてです：カテキズム（カトリックの公教要理）によると（1）偶像礼拝に反する第二条の戒めを取り除き、そして（2）第四条の戒め（安息日）を94の言葉から8の言葉だけに短縮してしまいました（訳注:英語において）。安息日の戒め（出エジプト記 20:8-11）は、間違いなく安息日は週の第七日であることを明示しています。ローマ法王教によって変更されたものによると、戒めは次のようになっています：「あなたは、安息日を聖として覚えよ」このように書かれていると、それはどの日でも当てはめることができます。そして最後に教会は、（3）戒めの第十条を二つの戒めに分けました。

B. ローマ法王制度は、どのように神の時を変えようと企てましたか？ 二つの方法においてです：（1）ローマ法王教は、安息日の時を、週の第七日から第一日に変更しました。（2）ローマ法王教はまた、安息日が始まる時と終わる時を変更しました。安息日を、金曜日の夜の日没から土曜日の日没までの時とすることを神が命じておられるにもかかわらず（レビ記 23:32）、その代わりに、土曜日の真夜中から日曜日の真夜中までとする異教ローマの習慣を取り入れました。神は、獣、または反キリストがこのように「変え（る）」ことを試みるということを預言されたのです。



安息日を日曜日に変更することは、神の律法を変えることに関与するので、非常に深刻な問題である。

下記のカトリック教会のカテキズムからの引用にご注目ください：

「質問:どの日が安息日ですか？」

答え:土曜日が安息日です。

質問:それではなぜ私たちは土曜日の代わりに日曜日を守るのですか？

答え:私たちが土曜日の代わりに日曜日を守るのは、カトリック教会が正式に、土曜日から日曜日に移したからです。」<sup>9</sup>

ここに、他のカトリックの供述があります：「教会（カトリック）の権威は聖書に優越するものである；この土曜日遵守から日曜日に変更したことが、その事実の確固たる証拠である。」<sup>10</sup>

これらの供述で、ローマ法王教は、安息日遵守を日曜礼拝に首尾よく変更したことは、教会の権威が、聖書より偉大で、優っていることの証拠であると断言しているのです。

<sup>9</sup>Peter Geiermann, *The Convert's Catechism of Catholic Doctrine* (St. Louis, B. Herder Book Co., 1957 ed.), p. 50.

<sup>10</sup>*The Catholic Record* (London, Ontario, Canada, Sept. 1, 1923).

#### 5. いったいだれが、大胆にも神の聖なる日を変更しようと試みるのですか？

SATURDAY  
SATURDAY  
SANURDAY  
SUNURDAY  
SUNRDAY  
SUNDAY  
SUNDAY

法王制度は安息日を日曜日に変えた。

答え：

我々はローマ法王制度に尋ねる、「あなたは本当に安息日を日曜日に変更したのですか？」その答えは、「はい、私たちは変更しました。それは私たちの権威と権力の象徴、そして印（しるし）です。」

我々は尋ねる、「よくそんなことをしようなどと思われましたね？」

この疑問は的を得ています。けれども、ローマ法王制度のプロテスタントに対する公式な質問はさらに的を得たものです。どうぞ心してお読みください：

「あなたはがたは、土曜日はユダヤ人の安息日であった、けれども キリスト教の安息日は、日曜日に変更されたと言う。変更された！ ではだれによって？ 全能の神の明白な戒めを変える権威をだれが持っているのだろうか？ あなたは第七日を聖く守りなさいと神が言われたのに、それどころか、第七日にあらゆる世俗的な仕事をしながら、代わりに第一日を聖く守れとだれが大胆にも言えるだろうか？ これは最も重要な質問であり、あなたが答えようがないことを知っている。あなたがたはプロテスタントであり、聖書のみに従うと公言しているが、しかし、七日のうちの一日を聖なる日として守るとして非常に重要なことについては、聖書の明白な言葉に反して、聖書が命じている日にほかの日を置いている。第七日を聖く守りなさいという命令は十戒のひとつである。あなたはほかの9つを今も守るべきものであると信じているが、だれが第四条を勝手に変更する権威を与えたのか？ もしあなたが自分の原則に首尾一貫しており、本当に聖書のみに従うならば、新約聖書のどこかに、第四条の戒めが明白に変更されたということを提示することは可能なはずである。」<sup>11</sup>

<sup>11</sup>Library of Christian Doctrine: *Why Don't You Keep Holy the Sabbath-Day?* (London: Burns and Oates, Ltd.), pp. 3, 4.

非常に残念なことに、カトリック主義、プロテスタント主義の両方が、神の聖なる安息日を拒んだために、天の法廷において有罪とみなされます -- 安息日は神の民を見分けるための神の聖い印（しるし）なのです。

## 6. 神は、神の律法、そして神の印（しるし）に関して、どのような厳肅な警告を与えておられますか？

答え：

- A. 神は、ある戒めに対してはいつでもいい、大したことはないと言って、人々をつまずかせている指導者に対して警告しておられます（マラキ書 2:7-9）。例えば、ある牧師たちは、「どの日を聖く守ろうが構わない、そんなことは問題ではない」と教えています。
- B. 神の律法に関する真理よりも、なめらかな作り話を牧師が説教するように望む人々に、神は警告をしておられます（イザヤ書 30:9,10）。
- C. 神の律法の真理に逆らって、心をかたくなにする人々に対して、神は警告をしておられます（ゼカリヤ書 7:12）。
- D. 神の律法を守ることは「変わり者」だと言う人々に、神は警告をしておられます -- たとえば、安息日を守ることなど（ホセア書 8:12）。
- E. 地上で騒乱、惨事、困難、災いなどが起こるのは、人々が神の律法に従うことを拒むだけでなく、律法を変更しようとさえるからである、と神は明言しておられます（イザヤ書 24:4-6）。
- F. 終末の預言を説くことを拒む宗教指導者たちに、神は警告をしておられます（イザヤ書 29:10,11）。
- G. 聖なること（神の聖なる安息日など）と、通俗なこと（日曜日など）の間には、実際に何の違いもないと説く指導者たちは、神の怒りに直面することになると、神は厳肅に警告をしておられます（エゼキエル書 22:26,31）。



神の神聖な安息日を軽んじる宗教指導者たちは、神の怒りに直面することになる。

## 7. 黙示録 13:16 は、人々が額、あるいは手に獣の刻印を受けると述べています。これはどのような意味でしょうか？



額は心を象徴する。人々は、日曜日を聖日として遵守することによって、彼らの額に刻印が押される。

答え：額（ひたい）は、心（ヘブル人への手紙 10:16）を象徴します。人は、日曜日を聖日として守る決断をすることによって、額に刻印を受けます。手は人がなす行い（伝道の書 9:10）を象徴しています。神の聖なる安息日に働いたり、実務上の理由（仕事、家族、そのほか）で、日曜遵守の法令に従うことによって、人は手に刻印を受けます。神の印、または獣の刻印のどちらであっても、人の目には見えません。安息日である神の印か、日曜日遵守である獣の刻印のどちらかを受けることを承諾することによって、実のところ、あなたが自分自身に印を押すことになるのです。人間の目には見えませんが、神は、だれに、どちらの印が押されているのかお知りになります（テモテへの第二の手紙 2:19）。



神の聖日を踏みしめることを止めるようにと神は求められる。

**8. イザヤ書 58:1,13,14 によると、この終末時代に、神はどのような重要なメッセージを神の民に告げておられますか？**

「大いに呼ばわって声を惜しむな。あなたの声をラッパのようにあげ、わが民にそのとがを告げ」「もし安息日にあなたの足をとどめ、わが聖日にあなたの楽しみをなさず、安息日を喜びの日と呼び、主の聖日を尊ぶべき日となえ、これを尊んで、おのが道を行わず、おのが楽しみを求めず ... その時あなたは主によって喜びを得」イザヤ書 58:1,13,14

**答え：**「わが民」は、わたし（神）の聖日を踏みしめることで罪を犯している（おそらく知らずして）。それゆえに、わたしの安息日を破ることを止めよ、そうすれば、わたしは彼らを祝福することができますと告げ示せ、彼らがこれを聴くように、大いに呼ばわって声を惜しむな！と神は言うておられます。

獣の刻印に関するメッセージを告げているヨハネの黙示録 14:9 - 12 の第三の天使もまた、大声で語っていることがわかります（9 節）。これをありきたりのメッセージのように軽々しく受け取ってしまうには、あまりにも重要なメッセージです。これは生死に関わる事柄なのです。イエスは、彼の羊である神の民は、彼の声に従うと言われました（ヨハネによる福音書 10:16,27）。

**9. 現在、日曜日を聖日として礼拝している人々は、獣の刻印を受けているのでしょうか？**

**答え：**いいえ、受けていません！日曜礼拝を法律によって強制されるようになるまでは、だれも獣の刻印を受ける人はいません。日曜遵守令が出されたとき（今はその一歩手前です）、獣の偽りの教えに従い、獣が作り上げた偽物の聖日である日曜礼拝することを決心した人が、獣の刻印を受けることになるのです。

イエスに従い、真理に服従する人々は、神の安息日を聖く守り、神の印を受けます。この先、獣の刻印を拒む心積もりである人は、今、イエスの安息日という旗印の下に入らなければなりません。神の力は、神に従う人たちのために用意されています（使徒行伝 5:32）。イエスから離れては、私たちは何もすることができません（ヨハネによる福音書 15:5）。イエスにあるとき、すべてのことが可能です（マルコによる福音書 10:27）。



日曜日に礼拝することを強いる法令が可決されたときに、それに従う人は獣の刻印を受ける。

**10. ヨハネの黙示録によると、どのような人が神の永遠の王国にいるのをヨハネは実際に見たのでしょうか？**

**答え：** その答えは、三つの事柄からなり、非常に明瞭です：

- A. 額に神の印（神の安息日）を持つ者（ヨハネの黙示録 7:3）。
- B. 獣とその像とに結びつくことを拒み、額に獣の刻印と名を受けることを拒む者（ヨハネの黙示録 15:2）。
- C. 現在、そして永遠にわたって、イエスが導かれるところはどこであっても従い、すべてのことにおいてイエスにまったく信頼をする者（ヨハネの黙示録 14:4）。これ以外の道はほかにありません。



額に神の印（しるし）を受けている人々のみか天に入る。

## 11. イエスは今日、私たちに何を語っておられるのでしょうか？

「わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」 ヨハネによる福音書 8:12

**答え：** 何というすばらしい約束でしょう！ イエスに従うならば、私たちは暗闇に取り残されることがなく、その代わりに壮大な真理を得ることができるのです。これ以上に喜ばしいことがほかにあるでしょうか？ そのうえ、イエスに従い、安息日を守ることで、額に神の印（しるし）を受け、不服従の者たちに下る恐ろしい災い（ヨハネの黙示録 16 章）から守られるのです（詩篇 91:10）。それはまた、イエスの再臨のときに天に移される用意が整ったというしるしでもあるのです。何という神の恵みの庇護、確信を私たちに与えてくださっていることでしょうか！

### 緊急通報

ヨハネの黙示録 14:6-14 の三天使のメッセージに関して書かれている九つの聖書研究講座のうちの最後の三つの学びで、あなたは驚くべき事実を見出すことになるでしょう。それらの聖書講座では次のことを説明いたします。（1）地球最後の闘争におけるアメリカ合衆国の役割 （2）世界の教会と宗派がどのように関係してくるのか （3）地球の最後の戦いにおいて世界の状況はどのようになるのか （4）無数の人々を欺くサタンの驚きの策略

教皇制度が安息日を日曜日に変更したと主張したことで、あなたはおそらく、ほかのプロテスタント教会の意見はどのようなものなのかと考えておられることでしょう。次の質疑応答の欄に記載されている引用文は、あなたの疑問に対する衝撃的な回答であります。



イエス・キリストに従うことは神の第 7 日の安息日を神聖に保つことを含むべきである。

## 12. 今日、私は、神の聖日である七日目安息日（土曜日）を守り始め、神が導かれるところはどこであっても従うことを決心いたしました。

**答え：**

- はい
- いいえ

### 質問

## 1. 安息日や日曜日のことについて、ほかの教会の説教者や牧師はどのように言っているのでしょうか？

出エジプト記 20:8

**答え：** 以下は、さまざまな宗派、また権威者の、安息日に関するコメントです：

**バプテスト派：**「安息日を聖く守れという戒めが存在し、今も存在しているが、その安息日は日曜日ではなかった ... しかしながら、安息日は、七日目から週の初めの日に変更されたといずれだれかが証明してくれると確信している...そのような変更の記録はどこに存在するのだ？新約聖書にはない、絶対ない。安息日の制度が、週の七日目から週の一日目に変更したという聖書的な証拠はどこにもない。」 -- Dr. Edward T. Hiscox, author of *The Baptist Manual*, in a paper read before a New York ministers' conference held Nov. 13, 1893.

**カトリック教会：**「あなたは創世記から黙示録まで読むであろうが、日曜日を聖別したという神の言葉を一行も見つけることはできないであろう。聖書は、土曜日の戒めを遵守するよう命じているが、その日を我々〔カトリック〕は決して聖別していない。」 -- James Cardinal Gibbons, *The Faith of Our Fathers*, 16th edition, 1880, p. 111.

**キリストの教会：**「ようやく、我々はこの問題について、キリストの証言を得た。マルコによる福音書 2:27 で『安息日は人のためにあるもので、人が安息日のためにあるものではない』とキリストは言われた。この聖句は、ペーリー (Paley) と ヘングステンベルク (Hengstenberg) が言っているような、安息日はただ イスラエル人だけではなく、人のために ... それは 人類のために与えられたという証拠である。したがって、安息日は初めから聖別されており、神がすでにエデンにおいてアダムに与え、全人類の幸福のために制定された根源的な制度のひとつであるという結論に至った。」 -- Robert Milligan, *Scheme of Redemption*, (St. Louis, The Bethany Press, 1962), p. 165.

**会衆派教会：**「キリスト教の安息日〔日曜日〕は、聖書の中には存在しておらず、初代教会もそれを安息日と呼ばなかった。」 -- *Dwight's Theology*, Vol. 4, p. 401.

**英国聖公会：**「週の初めの日である日曜日（太陽に捧げられた日であったため、ローマ暦では *Dies Solis* 『太陽の日』と呼ばれた）は、礼拝の日として初期のクリスチャンたちによって取り入れられた ... 新約聖書の中には、この日を遵守する規定は定められていないし、実際、その遵守を命じてもない。」 -- "Sunday," *A Religious Encyclopedia*, Vol. 3, (New York, Funk and Wagnalls, 1883) p. 2259.

**ルター派：**「主の日〔日曜日〕の遵守は、神のどの戒めの中にもなく、それは教会の権限によるものである。」 -- Augsburg Confession of Faith, quoted in *Catholic Sabbath Manual*, Part 2, Chapter 1, Section 10.



**メソジスト:** 「日曜日について考えてみよう。教会が、どのように週の一日目を礼拝の日として守るようになったのかということが新約聖書の中で示唆されているようだが、クリスチャンが守る日であるとか、ユダヤ人の安息日をその日に移したということを述べている聖句はない。」 -- Harris Franklin Rall, *Christian Advocate*, July 2, 1942.

**ムーディー聖書学院:** 「安息日はエデンにおいて遵守義務が課せられ、それ以来、その拘束力は存続している。この第四条の戒めは、「覚えよ」という言葉で始まっているが、それはシナイ山で、石の板に神が律法を書かれたときには、すでに安息日が存在していたということを証明している。律法のほかの九つが、今も拘束力があると認めながら、このひとつの戒めは廃止されたと主張することがどうしてできるか？」 -- D. L. Moody, *Weighed and Wanted*, p. 47.

**長老教会:** 「それゆえに、すべての道徳律が無効にされたことが証明されるまで、安息日は有効である ... キリストの教えは、安息日が不滅であるということをも堅固なものにした。」 -- T. C. Blake, D.D., *Theology Condensed*, pp. 474, 475.

**ペンテコステ派:** 「なぜ我々は日曜日に礼拝をするのか？土曜日が主の日であると聖書は教えているのではなかったか？... 我々は新約聖書以外のほかのものからその答えを求めなければならないらしい。」 -- David A. Womack, "Is Sunday the Lord's Day?" *The Pentecostal Evangel*, Aug. 9, 1959, No. 2361, p. 3.

**百科事典:** 「日曜日は、異教徒によって、週の一日目として名付けられたものであって、彼らが太陽を礼拝した日だからであった ... 七日目が、神ご自身によって祝福され、聖別され、そして ... 神のために、神の被造物が聖なる日として守るよう要求なさっている。この戒めは普遍的な、永久の義務である。」 -- *Eadie's Biblical Cyclopedia*, 1872 ed., p. 561.

## クイズ

1. 多くの人びとは、すでに獣の刻印を受けています。(1)

- はい  
 いいえ

2. 獣の刻印とは(1)

- あなたのマイナンバーのことである。  
 日曜日を聖日とすること  
 食料雑貨の値段のためのバーコード

3. 刻印を持つ獣の制度は(1)

- 国連  
 ローマ法王制度  
 ヨーロッパの国際社会  
 日米欧三極委員会

4. 印(しるし)は、すべての人が実際に目で見ることができるものである。(1)

- はい  
 いいえ

5. 神も、神の権力と権威の印(しるし)、あるいは徴(しるし)を持っておられる。(1)

- はい  
 いいえ

6. 神の権威の印は(1)

- 忠実な一人ひとりのクリスチャンに与えられる秘密の番号  
 異言  
 創造と清めの記念としての安息日遵守  
 洗礼

7. 「獣」はどのように神の律法の変更を試みましたか?(2)

- 安息日(戒めの第四条)を日曜日に変えることによって。  
 姦淫をすることは罪ではないと教えることによって。  
 偶像礼拝を禁じる戒めを取り除くことによって。

8. 聖書の預言によると、42ヶ月はどれほどの期間ですか?(1)

- 字義通りの 420 年
- 字義通りの 3 年半
- 字義通りの 1,260 日
- 字義通りの 1,260 年

9. どこに獣の刻印は押されますか?(2)

- 手に
- 口に
- ほおに
- 額に

10. どこに神の印は押されますか?(1)

- 手に
- 額に
- 人の舌に

11. 三天使のメッセージのどれが、獣の刻印に対する警告ですか?(1)

- 第一天使のメッセージ
- 第二天使のメッセージ
- 第三天使のメッセージ

12. 獣はどのようにして神の時を変えようと試みましたか?(2)

- 新年を休日として祝うことによって。
- 神の聖日を第七日から週の第一日に変更することによって。
- 神の聖日のための時間である日没から日没の代わりに、真夜中から真夜中に定めることによって。

13. イエスは、獣の刻印に関する警告のメッセージを私たちに与えてくださいました。(1)

- はい
- いいえ

14. 徴、マーク、印、などの言葉は、聖書の中で交互に、同じ意味で使われています。(1)

- はい
- いいえ

15. 日曜日を聖日として遵守することの聖書に基づく証拠は全くありません。(1)

- 正しい
- 間違い

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。  
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.